

井上真一郎, 内富庸介, 他	治療抵抗性統合失調症に対し clozapineを投与後、薬剤性の胸水、胸膜炎をきたし、投与中止・再投与開始後に好中球減少症がみられた1例.	臨床精神薬理	14(12)	1983-89	2011
奥山徹, 明智龍男	高齢がん患者において頻度の高い精神疾患とそのマネージメント	腫瘍内科	8	270-275	2011
明智龍男	かかりつけ医が理解すべきがん患者のこころの変化-診断から終末期まで	治療	93	777-781	2011
明智龍男	がんの部位と進行度別にみた精神症状の特徴とそれに応じた対応	精神科治療学	26	937-942	2011
明智龍男	緩和ケアを受けるがん患者の実存的苦痛の精神療法-構造をもった精神療法	精神科治療学	23	821-827	2011
明智龍男	気持ちのつらさ	がん治療レクチャー	2	578-582	2011
吉内一浩	がん医療における心身医学的アプローチ	心身医学	51	687-691	2011
松本禎久 他	胆道・膵癌における緩和ケア	胆と膵	32	333-336	2011
松本禎久	オピオイド③ オキシコドン	がん治療レクチャー	2	497-501	2011
松本禎久	眠気が不快だと言われたらどうするか?	緩和ケア	21	128-131	2011
松本禎久 他	痛み止めの投与経路-最近の動向	Drug Delivery System	26	476-479	2011
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第4回 「結果・考察」を書く.	緩和ケア	21(1)	55-60	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	がん患者に対する介護保険手続きの迅速化の効果.	緩和ケア	21(1)	102-107	2011
厨芽衣子, 森田達也, 奥山徹, 他	論文を読み、理解する—Early palliative care for patients with metastatic non-small-cell lung cancer—	緩和ケア	21(2)	170-178	2011
赤澤輝和, 森田達也, 他	緩和ケアの啓発用冊子を病院内のどこに置いたらよいか?	緩和ケア	21(2)	221-225	2011
杉浦宗敏, 森田達也, 他	がん診療連携拠点病院における緩和ケア提供に関する薬剤業務等の全国調査.	日本緩和医療薬学雑誌	4(1)	23-30	2011
森田達也	泌尿器系難治症状の緩和 がん性疼痛ガイドラインのエッセンス 緩和医療学会がん疼痛ガイドラインのエッセンス.	日本泌尿器科学会雑誌	102(2)	205	2011
森田達也	緩和ケア普及のための地域プロジェクト—浜松地域のあゆみと今後の課題—.	大阪保険医雑誌	39(533)	10-17	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	病院と地域とで行う連携ノウハウ共有会とデスカンファレンスの参加者の体験.	緩和ケア	21(3)	335-342	2011

森田達也, 他	特集 がん疼痛治療の最新情報 早期緩和ケア導入によるがん治療の影響と効果.	Progress in Medicine	31(5)	1189-1193	2011
高田知季, 森田達也, 他	基幹病院における緩和医療. 麻酔科医出身のペインクリニシャンが関わる緩和医療.	ペインクリニック	32(6)	845-856	2011
清原恵美, 森田達也, 他	地域における緩和ケア病棟の役割—緩和ケア病棟における地域の看護師を対象とした研修の評価—.	死の臨床	34(1)	110-115	2011
森田達也, 他	臨床現場が必要とする緩和ケアを提供するために院内外“ゆるやかなネットワーク”づくりに力を注ぐ.	Watches	5	7-9	2011
山岸暁美, 森田達也, 他	在宅緩和ケアに関する望ましいリソースデータベースとは何か?—多地域多職種を対象とした質的研究.	緩和ケア	21(4)	443-448	2011
小田切拓也, 森田達也	ケアの実際 Q24. 予後予測.	がん治療レクチャー	2(3)	589-593	2011
森田達也, 他	第Ⅱ部 がん疼痛ガイドラインについてのわたしの本音 1. がん疼痛ガイドラインを現場ではこう実践しています【医師編】. 解説 がん疼痛ガイドライン—現場で生きるわたしの工夫—.	緩和ケア	21(8月増刊号)	154-174	2011
末田千恵, 森田達也, 他	どのような緩和ケアセミナーが求められているか: 4,188名が評価した緩和ケアセミナーの有用性に影響する要因.	ペインクリニック	32(8)	1215-1222	2011
森田達也	ガイドラインを読むために知っておきたい臨床疫学の知識 2. 緩和ケア領域の臨床研究の読み方. 解説 がん疼痛ガイドライン—現場で生きるわたしの工夫—	緩和ケア	21(8月増刊号)	191-192	2011
村上敏史, 森田達也, 他	がん疼痛ガイドラインの分かりやすい解説と枚ルール オピオイドの導入の仕方 オピオイドを投与する時に何をどう選ぶか?.	緩和ケア	21(8月増刊)	25-35	2011
森田達也, 他	多施設との医療連携の現状: 緩和ケア普及のための地域プロジェクト (OPTIM-study) 浜松地域のあゆみと今後の課題.	最新精神医学	16(5)	563-572	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	在宅死亡したがん患者の遺族による退院前カンファレンス・退院前訪問の評価.	緩和ケア	21(5)	533-541	2011
鈴木留美, 森田達也, 他	「生活のしやすさ質問票 第3版」を用いた外来化学療法患者の症状頻度・ニードおよび専門サービス相談希望の調査.	緩和ケア	21(5)	542-548	2011
小田切拓也, 森田達也, 他	原因不明の神経症状と疼痛で緩和ケアチームに紹介された患者の疼痛の原因と転帰.	ペインクリニック	32(9)	1423-1426	2011
鄭陽, 森田達也, 他	難治性の膀胱症状に対して上下腹神経叢ブロックが有効であった一症例.	日本ペインクリニック学会誌	18(4)	404	2011

川口知香, 森田達也, 他	呼吸器内科病棟における肺癌患者の呼吸困難に対するケアの現状.	日本癌治療学会誌	46(2)	890	2011
森田達也	緩和ケアの地域関連OPTIMプロジェクト浜松 地域リソースの「オペティマイズ=最大活用」と網目のようなネットワークが緩和ケア普及の鍵.	Medical Partnering	56	1-5	2011
森田達也	地域連携のさまざまなスタイルを発見 医師の「地域連携力」を鍛える.	Doctor' s Career Monthly	31	21	2011
古村和恵, 森田達也, 他	進行がん患者と遺族のがん治療と緩和ケアに対する要望—821名の自由記述からの示唆.	Palliat Care Res	6(2)	237-245	2011
森田達也	グッドデス概念って何?.	緩和ケア	21(6)	632-635	2011
小野宏志, 森田達也, 他	地域の多職種で作成した調査票を用いた在宅死亡がん患者の遺族による多機関多職種の評価.	緩和ケア	21(6)	655-663	2011
山岸暁美, 森田達也, 他	地域のがん緩和ケアの課題と解決策の抽出—OPTIM-Studyによる複数地域・多職種による評価—.	癌と化学療法	38(11)	1889-1895	2011
小川朝生	(Q)transcranial magnetic stimulation(TMS)の実施状況	日本医事新報		55-56	2011
小川朝生	「怒る」患者—隠れているせん妄をみつける	看護技術	57	70-73	2011
小川朝生	せん妄を家族に説明する	看護技術	57	172-175	2011
小川朝生	せん妄と認知症の症状の見分け方	看護技術	57	66-69	2011
小川朝生	せん妄患者への声のかけ方	看護技術	57	565-568	2011
小川朝生	レスキューが効かない痛み	看護技術	57	337-340	2011
小川朝生	あなたみたいな若い人にはわからないわよ	看護技術	57	668-671	2011
小川朝生	患者だけではなく家族も不安	看護技術	57	741-744	2011
小川朝生	告知の後に患者さんが泣いています	看護技術		846-849	2011
小川朝生	傾聴で解決できること、できないこと	看護技術		932-935	2011
小川朝生	予期悲嘆は起こさなければならないのか	看護技術		1023-1025	2011
小川朝生	患者さんのことを主治医に相談しても話になりません	看護技術		1252-1255	2011
小川朝生	あなたは大丈夫?	看護技術		1356-1359	2011
小川朝生	終末期がん患者における精神刺激薬の使用	精神科治療学	26	857-864	2011
小川朝生	SHAREを用いた化学療法中止の伝え方	がん患者ケア	5	3-7	2011
小川朝生	新しい向精神薬を活用する	緩和ケア	21	606-610	2011
小川朝生	がん患者における医療用麻薬および向精神薬の実態調査	医療薬学	37	437-441	2011
小川朝生	ガイドラインの分かりやすい解説	緩和ケア	21	132-133	2011
小川朝生	臨床への適用と私の使い方	緩和ケア	21	134-135	2011
小川朝生	特集にあたって	レジデントノート	13	1194-1195	2011

小川朝生	入院患者の不眠とせん妄を鑑別するポイントを教えてください	レジデントノート	13	1215-1219	2011
小川朝生	統合失調症	看護学生	58	26-30	2011
小川朝生	がん専門病院の立場から	外来精神医療	11	17-19	2011
小川朝生	家族の心理状態について	ホスピスケア	22	30-55	2011
小川朝生	平成22年度厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会	Medical Tribune	44	22	2011
小川朝生	Cancer-brainとうつ病	Depression Frontier	9	85-92	2011
清水 研	QOLを低下させる心の病。早期治療で改善を。	がんサポート	112	50-53	2012
清水 研	緩和ケアにおいて心身医学はどのような貢献ができるか？	心身医学	52	617-622	2012
矢野智宣, 内富庸介	周術期のせん妄の診断と治療術前からリスク因子に対応し、必要に応じて薬物治療を	Life Support and Anesthesia	19(2)	144-8	2012
藤原雅樹, 内富庸介, 他	うつ状態に対するlamotrigineの急性効果の検討	臨床精神薬理	15(4)	551-9	2012
内富庸介	がん患者の抑うつと薬物治療	臨床精神薬理	15(7)	1135-43	2012
内富庸介	がん医療においてサイコオンコロジストを築いてほしい心のケア体制	CLINICIAN	59	26-32	2012
内富庸介	がん医療におけるコミュニケーションスキル	造血細胞移植	24	2-3	2012
内富庸介	新規抗うつ薬について	CLINICIAN	59(8)	14-7	2012
矢野智宣, 内富庸介, 他	うつ病を伴う口腔灼熱感症候群にpregabalinが有効であった1例	精神医学	54(6)	621-3	2012
内富庸介	がん患者の意思決定を支援する	Nurshing Today	27(5)	50-3	2012
内富庸介	悪い知らせを伝える際のコミュニケーション・スキルSHAREプロトコール	PSYCHIATRIST	17	5-22	2012
明智龍男	メント・モリ	精神医学	54	232-233	2012
明智龍男	がん終末期の精神症状のケア	コンセンサス癌治療	10	206-209	2012
木下寛也, 松本禎久, 他	がん専門病院緩和ケア病棟の運営方針が地域の自宅がん死亡率に及ぼす影響	Palliative Care Research	7	348-353	2012
松本禎久, 小川朝生	がん患者の症状緩和ー精神症状(せん妄、抑うつ、睡眠障害など)・倦怠感	Modern Physician	32	1109-1112	2012
松本禎久	国立がん研究センター東病院における専門的緩和ケアサービスの活動	がん患者と対症療法	23	158-162	2012
古村和恵, 森田達也, 他	市民の緩和ケアに対するイメージの変化.	緩和ケア	22(1)	79-83	2012
福本和彦, 森田達也, 他	オピオイド新規導入タイトレーションパスががん疼痛緩和治療に与える影響.	癌と化学療法	39(1)	81-84	2012
佐藤泉, 森田達也, 他	在宅特化型診療所と連携する訪問看護ステーションの遺族評価.	訪問看護と介護	17(2)	155-159	2012

井村千鶴, 森田達也, 他	患者・遺族調査の結果に基づいた緩和ケアセミナーの有用性.	ペインクリニック	33(2)	241-250	2012
森田達也	医療羅針盤 私の提言(第50回) 地域緩和ケアを進めるためには「顔の見える関係」を作ることが大切である.	新医療	39(3)	18-23	2012
井村千鶴, 森田達也, 他	地域で行うデスカンファレンスの有用性と体験.	緩和ケア	22(2)	189-194	2012
森田達也	がん性疼痛に対する鎮静薬の副作用対策.	コンセンサス癌治療	10(4)	192-195	2012
森田達也	緩和ケアチームの活動とOPTIMの成果.	Credentials	44	9-11	2012
鄭陽, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第1回WHO step II オピオイド: 弱オピオイドの使用, WHO step III オピオイド: オピオイドの第1選択.	緩和ケア	22(3)	241-244	2012
森田達也, 他	地域対象の緩和ケアプログラムによる医療福祉従事者の自覚する変化: OPTIM-study.	Palliat Care Res	7(1)	121-135	2012
古村和恵, 森田達也, 他	迷惑をかけてつらいと訴える終末期がん患者への緩和ケア—遺族への質的調査からの示唆.	Palliat Care Res	7(1)	142-148	2012
市原香織, 森田達也, 他	看取りのケアにおけるLiverpool Care Pathway日本語版の意義と導入可能性—緩和ケア病棟2施設におけるパイロットスタディ.	Palliat Care Res	7(1)	149-162	2012
森田達也, 他	地域緩和ケアプログラムに参加した医療福祉従事者が地域連携のために同職種・他職種に勧めること.	Palliat Care Res	7(1)	163-171	2012
森田達也, 他	在宅緩和ケアを担う診療所として在宅特化型診療所とドクターネットは相互に排他的か?.	Palliat Care Res	7(1)	317-322	2012
森田達也, 他	地域緩和ケアにおける「顔の見える関係」とは何か?.	Palliat Care Res	7(1)	323-333	2012
山田博英, 森田達也, 他	患者・遺族調査から作成した医療者向け冊子「がん患者さん・ご家族の声」.	Palliat Care Res	7(1)	342-347	2012
前堀直美, 森田達也, 他	外来患者のがん疼痛に対する保険薬局薬剤師の電話モニタリング・受診前アセスメントの効果.	ペインクリニック	33(6)	817-824	2012
森田達也	臨床診断より優れた進行がん患者の予後予測モデル 開発予測モデルの再現性は未確認.	MMJ	8(2)	102-103	2012
森田達也	日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部第10回年次大会から. 緩和ケア地域介入研究<OPTIM-study>が明らかにしたこと: 明日への示唆.	Best Nurse	23(7)	6-15	2012
岩崎静乃, 森田達也, 他	終末期がん患者の口腔合併症の向き観察研究.	緩和ケア	22(4)	369-373	2012
小田切拓也, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第2回オピオイドのタイトレーション オピオイドの経皮	緩和ケア	22(4)	346-349	2012

	製剤の役割.				
大野友久, 森田達也, 他	入院患者における口腔カンジダ症に対する抗真菌薬の臨床効果に関する研究.	癌と化学療法	39(8)	1233-1238	2012
今井堅吾, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第3回 1オピオイドによる嘔気・嘔吐に対する治療, 2オピオイドによる便秘に対する治療, 3オピオイドによる中枢神経症状に対する治療.	緩和ケア	22(5)	428-431	2012
森田達也	緩和ケア領域における臨床研究: 過去、現在、未来.	腫瘍内科	10(3)	185-195	2012
木下寛也, 森田達也, 他	がん専門病院が地域緩和ケアの向上のために取り組んでいることと課題.	癌と化学療法	39(10)	1527-1532	2012
森田達也	クローズアップ・がん治療施設(28) 聖隷三方原病院 腫瘍センター・緩和ケア部門.	臨床腫瘍プラクティス	8(4)	415-417	2012
鄭陽, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第4回1. アセトアミノフェンとNSAIDsの役割. 2. 鎮痛補助薬の役割. 3. 腎機能障害のある患者へのオピオイドの使用.	緩和ケア	22(6)	522-525	2012
木澤義之, 森田達也, 他	地域で統一した緩和ケアマニュアル・パンフレット・評価シートの評価: OPTIM-study.	Palliat Care Res	7(2)	172-184	2012
山本亮, 森田達也, 他	看取りの時期が近づいた患者の家族への説明に用いる『看取りのパンフレット』の有用性: 多施設研究.	Palliat Care Res	7(2)	192-201	2012
森田達也, 他	地域緩和ケアプログラムに参加した医療福祉従事者が最も大きいと体験すること: OPTIM-study.	Palliat Care Res	7(2)	209-217	2012
木下寛也, 松本禎久, 森田達也, 他	がん専門病院緩和ケア病棟の運営方針が地域の自宅がん死亡率に及ぼす影響.	Palliat Care Res	7(2)	348-353	2012
森田達也, 他	異なる算出方法による地域での専門緩和ケアサービス利用数の比較.	Palliat Care Res	7(2)	374-381	2012
森田達也, 他	患者所持型情報共有ツール「わたしのカルテ」の評価: OPTIM-study.	Palliat Care Res	7(2)	382-388	2012
白髭豊, 森田達也, 他	OPTIMプロジェクト前後での病院から在宅診療への移行率と病院医師・看護師の在宅の視点の変化.	Palliat Care Res	7(2)	389-394	2012
森田達也, 他	遺族調査に基づく自宅死亡を希望していると推定されるがん患者数.	Palliat Care Res	7(2)	403-407	2012
上山栄子, 小川朝生, 他	反復経頭蓋磁気刺激によるラット海馬における神経細胞新生の増加	精神神経学雑誌	114	1018-1022	2012
松本禎久, 小川朝生	がん患者の症状緩和	Modern Physician	32	1109-1112	2012
小川朝生	がん患者の精神心理的ケアの最大の問題点	がん患者ケア	5	55	2012
小川朝生	がん患者に見られるせん妄の特徴と知っておきたい知識	がん患者ケア	5	56-60	2012
小川朝生	悪性腫瘍 (がん)	精神看護	15	76-79	2012

